

繊維の表現と繊維の呼吸を感じる展覧会

企画展「JTC テキスタイルの未来形 in 宝塚 2025」開催

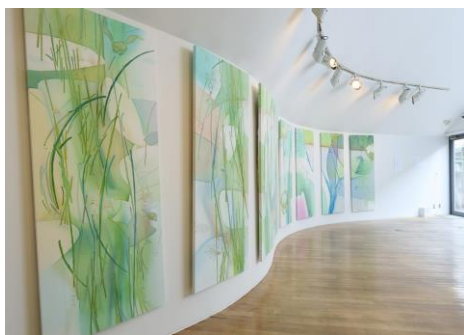
TEXTILE in FUTURE EXPRESSION JAPAN TEXTILE COUNCIL in TAKARAZUKA 2025

会期：2025年2月22日（土）～3月23日（日）

会場：宝塚市立文化芸術センター（兵庫県宝塚市武庫川町7-64）

宝塚市立文化芸術センター（所在地：兵庫県宝塚市／館長：加藤義夫）は、JTC日本テキスタイルカウンシルとの共同開催で、企画展「テキスタイルの未来形 in 宝塚 2025」を、2025年2月22日（土）から3月23日（日）の会期で開催します。

本展は、全国の大学等でテキスタイル・染織の教育に携わる91名の作家が集い、自らの創作研究活動の成果を発表する展覧会です。



▲有田やえ《白憧雨》2024年



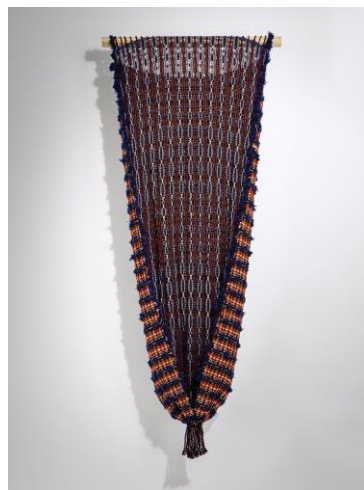
▲いまふくふみよ《回帰する時間 一繋がる一》2022年

テキスタイルは太古の昔から私たちの生活と密接な関係にあり、衣食住のすべてに深く結びついています。とりわけ衣服や装飾のために、先人たちは糸を紡ぎ、織り、染め、編むといった数多くの技法、表現を生み出し、それを継承し、進化を遂げてきました。そして、これからも発展し続けるでしょう。

本展の出品作品は、国内外の伝統染織技術から現代の技法まで幅広く、さらにはこれからの新しい技法に挑戦した研究を造形作品という形で自己表現したものです。

技法や素材、表現、テーマは自由で、作品の大きさ以外に制限はありません。この自由な発想と豊かな感性を繊維という世界で展開し、可能性を探る作品は見る者を飽きさせないでしょう。

なお本展は、2021年3月に同センターで開催され好評を博した企画展「テキスタイルの未来形 in 宝塚 2021」に続く展覧会です。概要は次ページの通りです。



▲遠藤樹《心面下》2023年

《報道関係者お問い合わせ先》

宝塚市立文化芸術センター 広報事務局（TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

MOBILE:090-6065-0063(馬場) 090-5667-3041(永井)

TEL : 050-1807-2919 FAX : 06-6231-4440 E-mail : takarazuka@tm-office.co.jp

<その1>

多種多様な染織の技法や、繊維のもつ魅力、テキスタイルの表現の豊かさを楽しむ

- ◆テキスタイル技法は、大きく分ければ「織り」「染め」「編み」の3つですが、それぞれの技法をさらに細かく分類すれば、より数は増えます。それらの技法を用いた衣服やインテリアなどの実用的な作品から、現代美術や彫刻、絵画的表現を試みる作品などもあり、作品形態も立体、平面、半立体など多彩です。テキスタイル技法の組み合わせにより表現は無限に広がります。その豊かな色彩と質感は、他の素材では表現できないものです。
- ◆伝統技法から現代表現、手わざから機械、アナログからデジタルまでの幅広い作品で構成されており、テキスタイル表現の豊かさを実感していただけます。

<その2> 全国から90名を超すテキスタイル作家の作品を一堂に展示

- ◆本展覧会は出品者層が幅広いことも特色のひとつです。全国の教育機関で活躍する若手の助手や副手から名誉教授、退任された教員が含まれています。それぞれの年齢により、経験してきた歴史や環境の違い、社会情勢など多くの経験値によって、同じ技法や素材でも表現方法が異なってくるのを感じることができます。
- ◆北海道から沖縄まで、全国の教員が出品していることから、各地における地場産業との関わり方や環境、社会性の違いなど、それぞれの地域の特色が表れています。

<その3> 宝塚市立文化芸術センター内の展示施設全体を使用する大規模展

- ◆展示には、センター内の展示施設全体（メインギャラリー、サブギャラリー、キューブホール）を使用します。展示空間を横断しながら、さまざまな表現のテキスタイル作品に出会うことができます。

主な出品作品



▲内藤紫帆《そうだった気がする》2024年



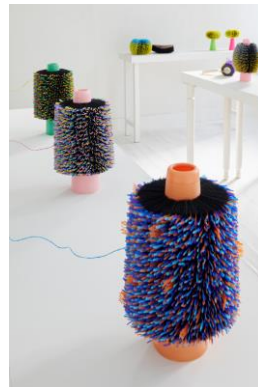
▲桂川美帆《limpid》2024年



▲久保田寛子 経緋着物《潤ふ》2021年



▲指田容史子《羽化》2013年



▲小野山和代《桌上的風景》2022年



▲石井香久子《Japanese paper strings -musubu-環 : W》2024年



▲中川裕孝《風ケイ(桂川サイクリングロード)》2024年



▲岸田めぐみ《Deep Diver》2022年



◀岩井美佳《胞膜》2024-2025年

【出品作家】 (JTC日本テキスタイルカウンセル会員)

阿久津光子、阿部緑、荒姿寿、荒川朋子、有田やえ、石井香久子、石崎朝子、出居麻美、伊藤藍、いまふくふみよ、岩井美佳、岩崎萌森、牛尾卓巳、遠藤樹、大金晶子、大高亨、岡田教子、岡本直枝、岡本泰子、生越麻紀子、大手裕子、小野山和代、加賀城健、片岡葉子、桂川美帆、加藤祐子、加藤良次、門田綾音、角谷彩子、亀田ひなた、岸田めぐみ、日下部雅生、工藤聖美、國政サトシ、久保田繁雄、久保田寛子、熊井恭子、栗田融、小泉順美、佐久間恭子、指田容史子、佐藤賢司、佐藤百合子、眞田玲子、下村好子、朱軼姝、白井聡子、鈴木純子、関水美穂、瀬藤貴史、徂徠友香子、高橋亜希、高橋稔枝、竹内優美、竹垣恵子、武田めぐみ、巽美由紀、舘正明、田中孝明、田中洋江、田辺由子、千代田憲子、堤加奈恵、椿操、寺田勝彦、徳増洋乃、内藤紫帆、中川裕孝、中川るな、中島直美、中野恵美子、仁尾敬二、野田睦美、橋本圭也、花城美弥子、林塔子、平林芳子、藤野あさぎ、本田詩織、前田亮二、宮本佳子、村田のぞみ、森香織、森田和子、山崎広樹、山田菜々子、山本篤子、山本真由、吉谷美世子、若鍋祐子、渡辺結 (計91名、五十音順)

「JTC日本テキスタイルカウンスル」について

JTCの発足は、2004年に武蔵野美術大学の田中秀穂先生（現、名誉教授）を代表とし、多くの美術・芸術系大学教員（山本清、鈴木信康、滝本英男、川本敦久、大橋正芳、高橋正）の尽力によります。JTCはテキスタイルに関わる教育研究者が自らの創作活動及び研究活動を行い、研鑽を積み、理念を達成し、次代のテキスタイルアート・テキスタイルデザイン及びテキスタイル教育の向上と発展に寄与することを目的とし、それに共感するテキスタイル教員で構成する会です。国内外の関係諸機関との交流及び協力を行うことを目指しています。



▲加藤良次代表

「JTCテキスタイルの未来形」は、JTC会員による展覧会の名称です。第1回の「テキスタイルの未来形」は2005年に大阪で開催され、その後2006年金沢展（金沢21世紀美術館市民ギャラリー）、2007年沖縄展（第一会場沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館/第二会場那覇市民ギャラリー）、2008年札幌展（札幌芸術の森美術館）、2009年福岡展（福岡アジア美術館）、2010年東京展（AXISギャラリー）、2012年網走展（網走市立美術館）と計7回開催されました。展覧会開催期間内では作品の展示だけでなく、テキスタイルに関係するシンポジウムやワークショップ、JTC総会や会員の懇親会なども開かれました。

2021年3月開催の「JTCテキスタイルの未来形 in 宝塚 2021」展は、2020年6月に開館した宝塚市立文化芸術センター・加藤義夫館長からの提案により実現しました。今回は宝塚において2度目の展覧会となります。

なお、JTCは2024年5月に第6期役員が決まり、来年度より新体制でスタートします。

○第5期理事代表：加藤良次（JTC日本テキスタイルカウンスル理事、横浜美術大学学長／教授）

開催概要

展覧会名：JTC テキスタイルの未来形 in 宝塚 2025

(英語表記) TEXTILE in FUTURE EXPRESSION JAPAN TEXTILE COUNCIL in TAKARAZUKA 2025

会 期：2025年2月22日(土)～3月23日(日)

休 館 日：毎週水曜日

開館時間：10:00～18:00(但し、メインギャラリーの最終入場は17:30まで)

※初日2月22日(土)のみ13時より開場

会 場：宝塚市立文化芸術センター 1階サブギャラリー、キューブホール、2階メインギャラリー
(〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町7-64)

公式WEBサイト <https://takarazuka-arts-center.jp>



観 覧 料：一般(高校生以上)1,000円(2階メインギャラリーのみ、
1階会場は無料)

※中学生以下無料

※障がい者手帳提示でご本人様、付添の方1名まで無料

問い合わせ：宝塚市立文化芸術センター [TEL:0797-62-6800](tel:0797-62-6800)

主 催：JTC日本テキスタイルカウンスル、宝塚市立文化芸術センター(指定管理者：宝塚みらい創造ファクトリー)

協 賛：株式会社田中直染料店

協 力：学校法人大手前学園 大手前大学、学校法人トキワ松学園 横浜美術大学

後 援：神戸新聞社

<記者発表・内覧> 2025年2月22日(金) 10:30～11:00(受付 10:15～)

<一般招待者、パートナー会員内覧> 2025年2月22日(土) 11:00～13:00

関連イベント

◆ ワークショップ：植物染料でスカーフを染めよう！

昔からよく使われる代表的な植物を使用して、スカーフを染めます。古代の染色の話など聴きながら、植物を煮出し、染料を作るところからはじめます。簡単な絞り染やグラデーションなどを工夫して、自分だけの美しい色彩のオリジナルスカーフを創りましょう。

講師(本展出品作家)：

いまふくふみよ(大手前大学建築&芸術学部教授)

有田やえ(大手前大学建築&芸術学部講師)

日時：2025年3月1日(土) 13:00～16:00

会場：メインガーデン内ガーデンハウス

定員：15名(要事前申込) 参加費：2,500円(当日精算)

対象：どなたでも(小学生以上 ※小学生の参加者は大人が同伴してください)

参加申込受付開始：2025年2月1日(土) 10:00より。宝塚市立文化芸術センターの公式ウェブサイト <https://takarazuka-arts-center.jp> よりお申込みください。

◆パートナーズサロン

レクチャー：テキスタイル産業で高まりつつある「クラフト志向」

日時：2025年3月9日（日）14:00～15:30

会場：メインガーデン内ガーデンハウス

定員：40名（要予約）

講師：大田康博（駒澤大学経営学部教授、経営学博士）

※2024年度パートナー会員限定、当日入会可（年会費2,500円）

申込受付開始：2025年2月1日（土）10:00より。宝塚市立文化芸術センターの公式ウェブサイト

<https://takarazuka-arts-center.jp> よりお申込みください。

<講師紹介>

大田康博（おおた やすひろ） 駒澤大学経営学部教授、経営学博士（大阪市立大学・現大阪公立大学）

1994年から繊維産業の研究を開始し、2007年、著書『繊維産業の盛衰と産地中小企業：播州先染織物業における競争・協調』日本経済評論社で、中小企業研究奨励賞本賞を受賞している。

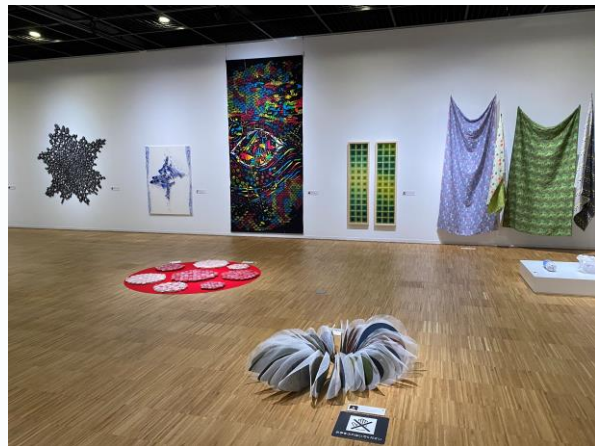
2005年以降は国内繊維産地の展望を求め、イタリア、フランスなどの産地、展示会などを調査する一方、国内各地で訪問型・来訪型マーケティング、クラフト、「よそ者」などに関する研究を進めてきた。

2017年より、産地間交流イベント「テキスタイル産地ネットワーク」を主催している。

▼2021年開催時の展示風景



▲2階メインギャラリー



▲2階メインギャラリー



▲1階キューブホール



▲1階サブギャラリー

<宝塚市立文化芸術センター 施設データ>

所在地：〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町7-64

TEL：0797-62-6800

休館日：水曜日（祝日は開館）

※年末年始（12月29日～1月3日）、その他設備点検などにより臨時休館する場合があります。

開館時間：センター・メインギャラリー・屋上庭園：10時～18時、メインガーデン：10時～17時
（メインギャラリーの入館は17時30分まで）

WEBサイト：<https://takarazuka-arts-center.jp/>

※入館は基本無料。展覧会や催しによっては、一部会場が有料となります。



▲外観



▲1階エリア

◆広報用画像貸出について

本プレスリリースに使用している画像は、広報用素材として貸出いたします。

以下のフォームより申請ください

申込フォーム：<https://forms.gle/PsKu9yox3dEpu2Vq8>



◀アクセス
二次元コード

《報道関係者お問い合わせ先》

宝塚市立文化芸術センター 広報事務局（TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

MOBILE:090-6065-0063(馬場) 090-5667-3041(永井)

TEL：050-1807-2919 FAX：06-6231-4440 E-mail：takarazuka@tm-office.co.jp

宝塚市立文化芸術センター公式WEBサイト

URL <https://takarazuka-arts-center.jp>



◀アクセス
二次元コード